



交流新聞 第95号

令和7年12月23日発行

山梨県立甲府支援学校

地域の方々とのつながりを広げ、深めるための交流及び共同学習

山梨県立甲府支援学校

校長 相山 洋幸



特別支援学校における交流及び共同学習は、障害の有無にかかわらず、誰もが相互に人格と個性を尊重し合える共生社会の実現に向けて、国の施策として推進されています。障害のある子供と障害のない子供、あるいは地域の方々と触れ合い、共に活動する学習は、障害の有無にかかわらず、それぞれの経験を深め、社会性を養い、豊かな人間性を育むと共に、お互いを尊重し合う大切さを学ぶ機会となるなど、大きな意義を有するものです。また、学校卒業後においても、障害のある子供にとっては、様々な人々と共に助け合って生きていく力となり、積極的な社会参加につながると共に、障害のない子供にとっては、障害のある人に自然に言葉をかけて手助けをしたり、積極的に支援を行ったりする行動や、人々の多様な在り方を理解し、障害のある人と共に支え合う意識の醸成につながると考えられます。

本校においても、その意義を実現すべく、学校間の交流及び共同学習については、平成元年度に新田小学校、敷島中学校、甲府城西高校の前身の機山工業高校との取組を開始しました。平成5年度には、池田小学校が加わり、30年以上にわたり息の長い交流教育が続いています。

地域交流については、近隣の池田地区老人会の皆様に寄宿舍の夏祭りやクリスマス会に御参加いただいています。また、「おやなぎ連」の皆様との交流も実施しており、いずれの交流会でも和やかな時間を過ごすことができました。交流校や地域の関係者の皆様の御理解と御協力の中、充実した取組を積み上げてきているところです。

さて、先日、池田地区内にある社会福祉法人が主催する「地域連携推進会議」に出席した際、「地域の皆様と考える地域づくり」について意見交換がされました。市民を対象にしたアンケート結果において、池田地区の住みやすさの理由として「学校が多い文教地域で教育環境が充実」「病院や福祉施設が利用しやすい」などが挙げられていることが示され、複数の特別支援学校や多くの福祉サービス事業所が立地していることがその一要素になっていることを大変うれしく思いました。半面、それぞれの学校や福祉施設がまだ「点」の存在であり、今後は地域の皆様と協働しながら「線」や「面」となり、地域と一体化することが目指すべき姿であることが確認されました。

地域とのつながりをより広げ、深めていくためには、本校のことを知ってもらうことが大切であり、交流及び共同学習を進めていくことの意義は大きいと感じています。今後も地域交流において今の学校の姿を伝えつつ、学校間の交流における学齢期からの相互のかかわりを、未来のより良い地域づくりにつなげていきたいと考えています。

併せて、学校のこと・人をより多くの方に知ってもらうために、今年度は学校ホームページからの情報発信にも積極的に取り組んでいます。各学部や分掌担当から日々の学習活動や行事、係る業務内容などをこまめに伝えると共に、教職員のワーク＆ライフの紹介なども行っています。是非、多くの方に本校ホームページを「お気に入り登録」して御覧いただきたいと思います。

子供たちの幅広い経験と豊かな人間形成を図るため、また、地域と共にある学校づくりのため、引き続き、本校の教育活動に御理解と御支援をいただけますようお願いいたします。



甲府支援学校ホームページは、
こちらからどうぞ！

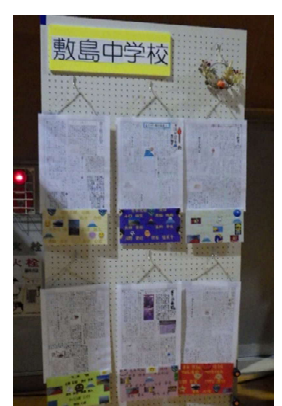
第55回甲養祭

～みんなでつくる甲養祭 アゲアゲ new 祭～

第55回甲養祭が11月12～11月14日に行われました。今年度のテーマは、『みんなでつくる甲養祭 アゲアゲ new 祭』、テーマ曲は、嵐の『happiness』です。振付を全校に募集して甲養祭実行委員で振付を決め、開祭式と閉祭式で踊りました。また、日頃の学習の取り組みや成果を劇やオリジナルストーリーにのせて各学部で動画にしたものを視聴しました。どの学部も、特色が出ていてとても見ごたえのある発表ばかりでした。体育館後方には、授業で取り組んだ作品や、地域の方々、地域の交流校の作品を展示しました。どの作品も日頃の頑張りが分かるものばかりで、甲養祭を彩るものとなりました。作品のご協力ありがとうございました。



地域・交流校展示の様子



作品展示への出展のご協力
ありがとうございました

池田小学校との交流

池田小学校との交流は学年ごとに行われます。昨年度はリモートでの交流でしたが、今年度は全学年が直接顔を合わせて交流することができました。1年生は初めての交流でしたが、本校の児童の自己紹介クイズや池田小学校の音楽で取り組んでいるリズム遊びなどを行い、とても盛り上がりました。2～6年生は、お互いの学校のクラスや取り組んでいることなどについてのクイズ、ポッチャ、合唱・合奏などを行いました。学年が上がるごとに、積極的にかかわったり、相手のことを考えて行動したりする様子があり、毎年交流を積み重ねているからこそのかかわりが見られた交流会となりました。



敷島中学校との交流

中学部では7月3日（木）敷島中学校の1年2組の生徒さんと本校にて交流を行いました。グループを分けての交流でしたが、お互いの部屋をリモートで繋ぎ、司会の進行や校長先生の話等、一体となって実施することができました。活動内容としては、自己紹介を兼ねたゲームの「サイコロトーク」や得点を競い合う「甲府支援ポッチャ」を行いました。どのグループもゲームに本気になり、勝つためにどうしようかと相談し、投げたボールが良いところに行くと歓声が出るなど盛り上がっていました。最後には、接戦の場でミラクルな展開もありました！互いを意識し合いながら交流を深めることができました。



甲府城西高校との交流

今年度も甲府城西高校の高校総体出場を応援するため、美術の時間などを活用して応援旗を作成しました。完成した応援旗は、壮行会に参加して直接城西高校の選手の皆さんに手渡し、応援の気持ちを伝えることができました。壮行会后、インターアクト部の生徒さんとの会話が盛り上がり、短時間ながら高校生同士で貴重な交流の場となりました。また、YCC 県民文化ホールにて開催された甲府城西高校の学園祭「希城祭」にも招待していただきました。会場に入った瞬間、普段聞き慣れない歓声を聞いたり、ダンスを見たりし、たくさんの刺激をもらいました。甲養祭には美術部の作品を提供していただきました。生徒からは「1枚の絵でいろいろな意味に例えられてすばらしかった」「神秘的だった」などの感想が聞かれました。今年度も様々な形で交流をすることができました。

